

**2020年度（2021年3月期）
決算説明資料**

**2021年5月12日（水）
日本KFCホールディングス株式会社
（東証第2部 証券コード 9873）**





- 1. 2020年度 通期実績**
- 2. 2020年度 ハイライト**
- 3. 2021年度 主な取り組み**
- 4. 資本・業務提携先**



1. 2020年度 通期実績

連結損益

単位：百万円

	2020年度実績		2019年度実績		増減	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比
売上高	89,652	-	79,634	-	10,018	-
売上総利益	38,698	43.2%	34,959	43.9%	3,739	▲0.7%
販売管理費	▲32,344	▲36.1%	▲30,173	▲37.9%	▲2,170	1.8%
営業利益	6,354	7.1%	4,785	6.0%	1,568	1.1%
営業外損益	▲856	▲1.0%	▲1,533	▲1.9%	677	1.0%
経常利益	5,498	6.1%	3,252	4.1%	2,246	2.0%
純利益	2,805	3.1%	1,533	1.9%	1,271	1.2%

KFC事業においては、引き続き新型コロナウイルス感染症への懸念による持ち帰り及び配達需要の高まりを受け、増収の結果となりました。

一方、持分法適用関連会社であるBamboo (Thailand) Holding Pte. Ltd.及び株式会社ビー・ワイ・オーにおいては、厳しい市場環境が続いており、これにより、持分法による投資損失1,275百万円を営業外費用に計上しております。詳細につきましては、2021年5月11日公表の「2021年3月期通期業績予想の修正及び営業外費用、特別損失（連結）の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

連結財務指標



指標	2020年度 通期	2019年度末
自己資本比率（％）	55.3	57.4
自己資本利益率（％）	12.4	7.1
総資産純利益率（％）	7.0	4.0
1株当たり純資産（円）	1,057	976
1株当たり当期純利益（円）	125.5	68.6
期末日株価終値（円）	2,969	2,310
時価総額（百万円）	66,377	51,630

連結キャッシュ・フロー

単位：百万円

営業活動による
キャッシュ・フロー

7,042

投資活動による
キャッシュ・フロー

▲2,246

財務活動による
キャッシュ・フロー

▲1,237

14,917

現金及び現金同等物の
期首残高

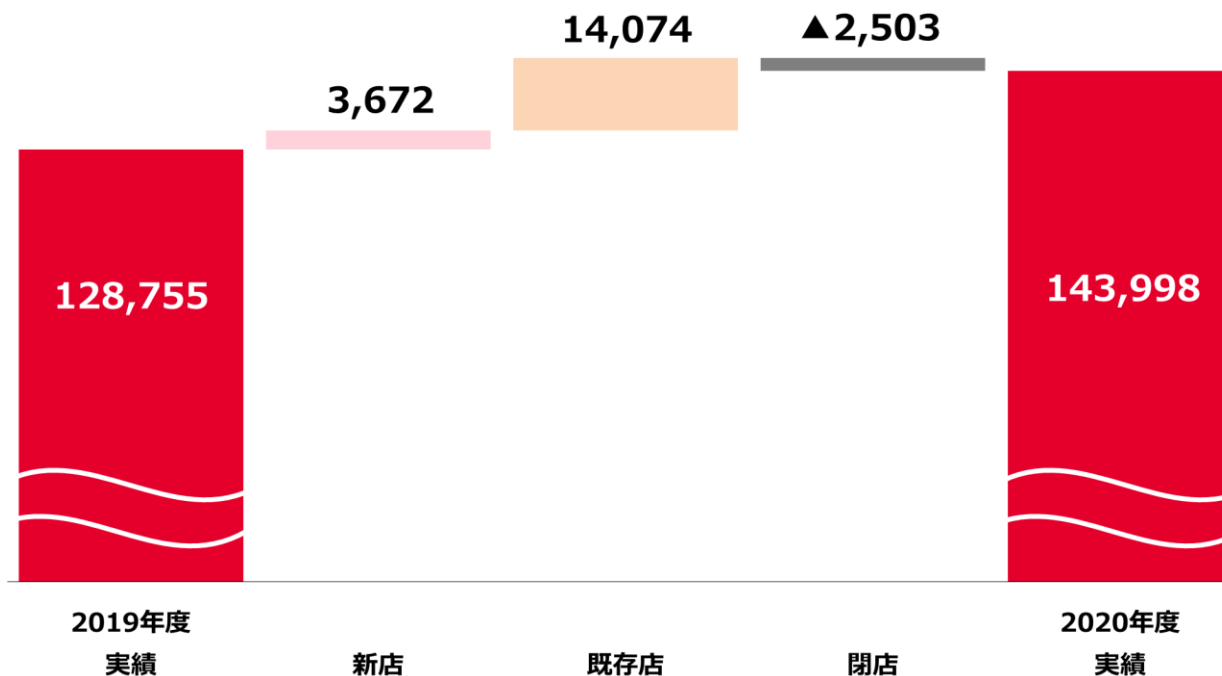
18,476

現金及び現金同等物の
期末残高
(有利子負債なし) 6

KFC事業 チェーン売上高

単位：百万円

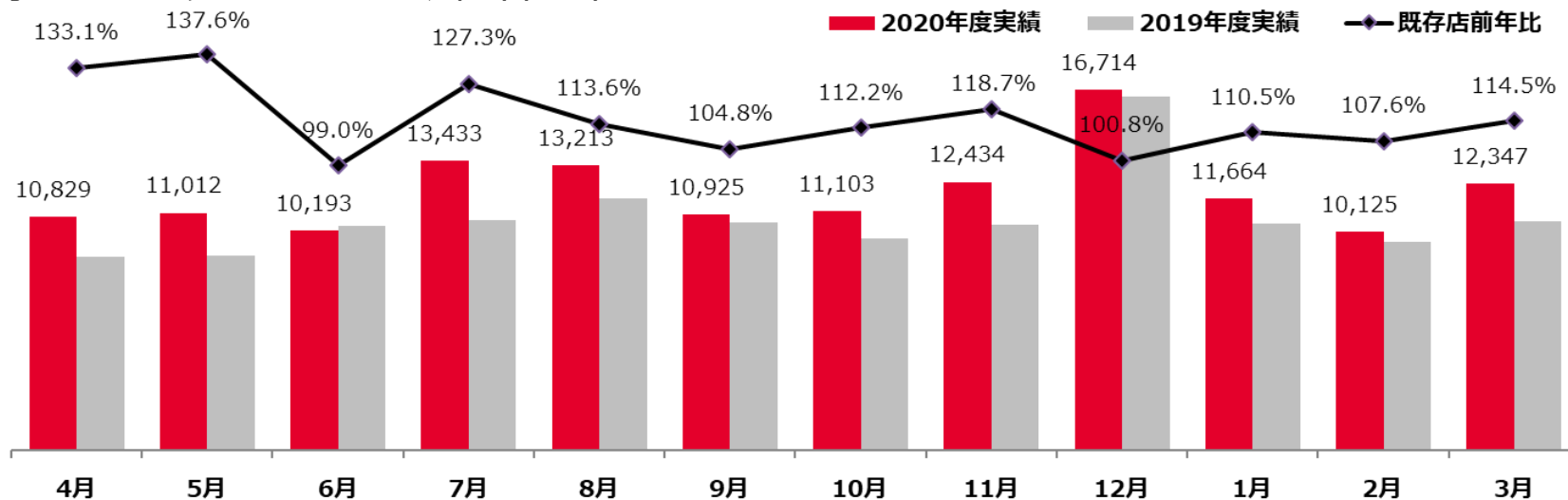
	2020年度実績	2019年度実績	増減
直営	39,400	36,433	2,967
フランチャイズ	104,598	92,321	12,276
チェーン売上	143,998	128,755	15,243



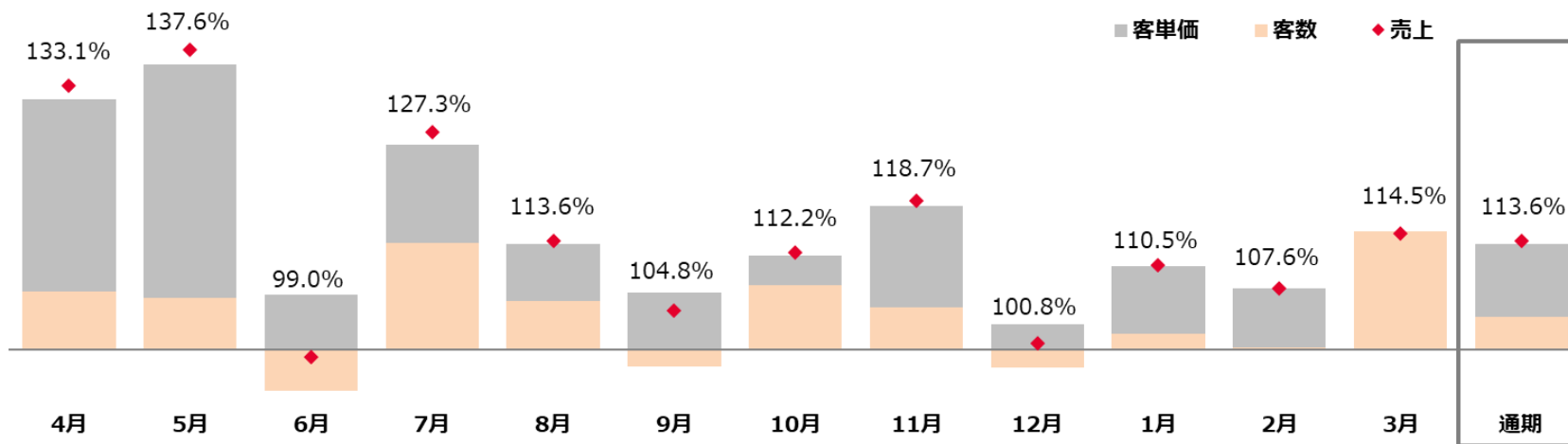
月別チェーン売上高・既存店前年比

単位：百万円

<月別チェーン売上高 及び 既存店前年比>



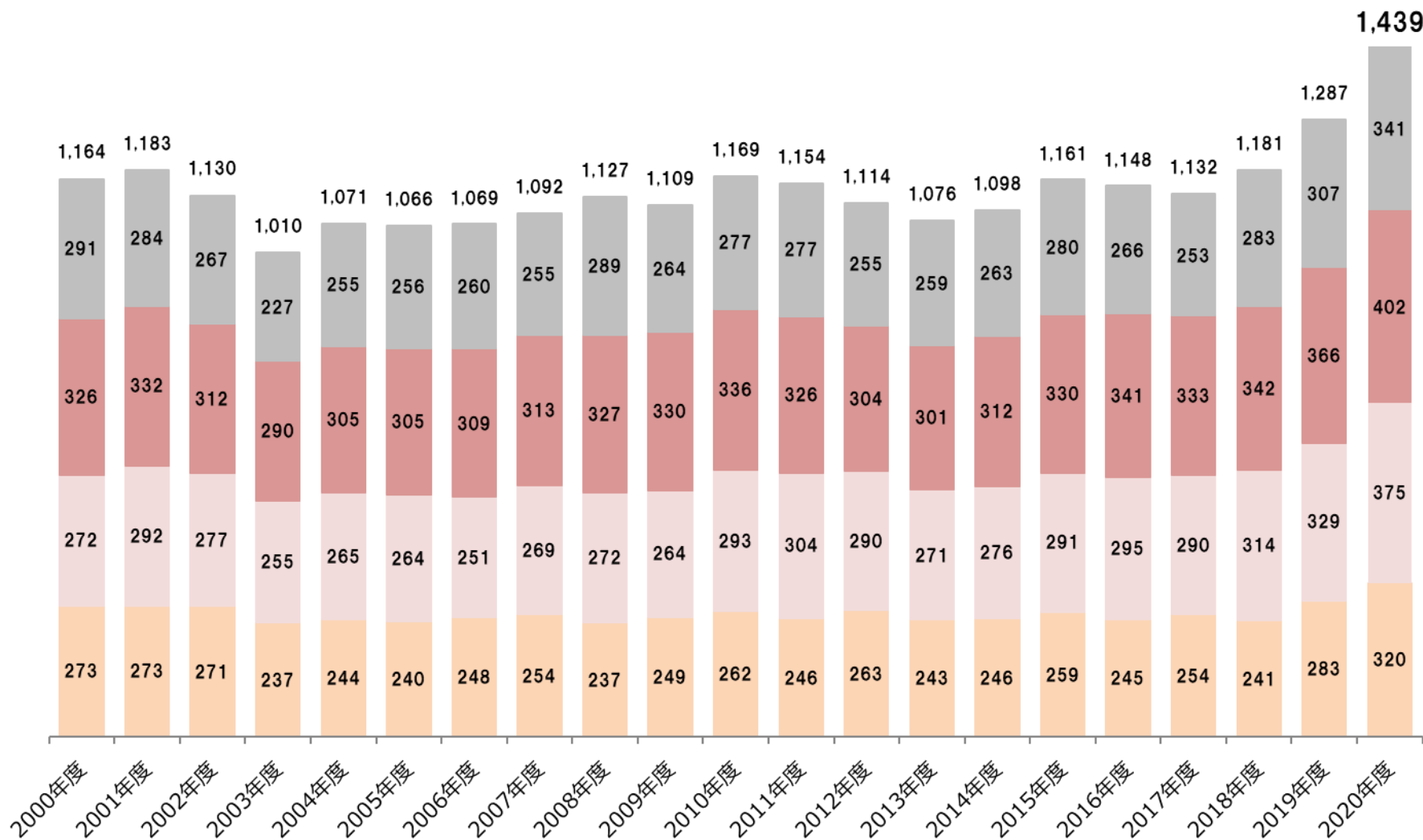
<月別既存店前年比 内訳 (客数・客単価) >



年度別チェーン売上高 長期推移

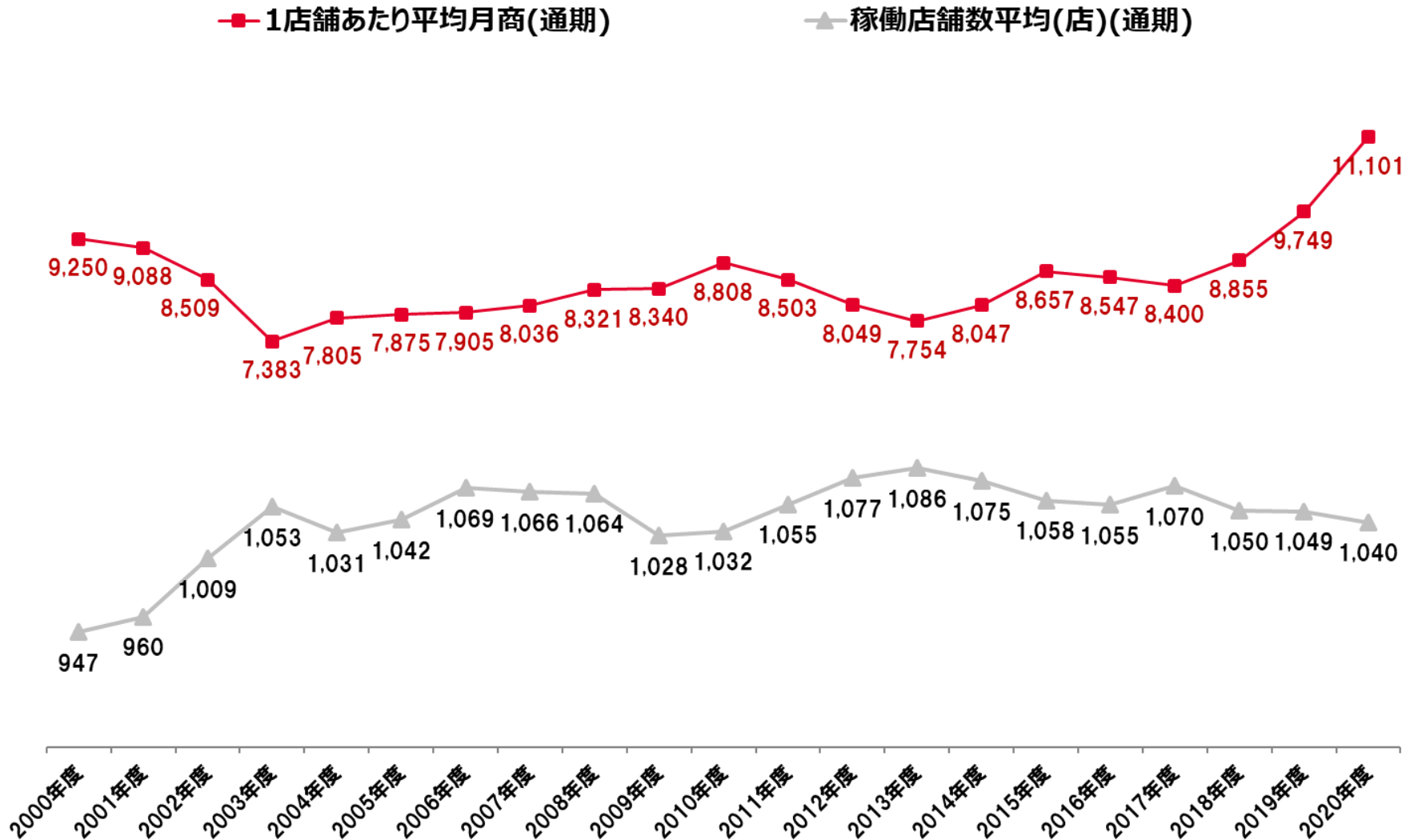
単位：億円

■ 第1四半期 ■ 第2四半期 ■ 第3四半期 ■ 第4四半期



既存店平均売上高 長期推移

単位：千円



※稼働店舗：営業している店舗のみを指す。改装等で休業している店舗は除く。

2021年度 業績予想

単位：百万円

	2021年度 予想	2020年度 実績	増減
売上高	95,688	89,652	6,035
営業利益	5,793	6,354	▲560
経常利益	5,012	5,498	▲486
当期純利益	2,831	2,805	26

年間配当金といたしましては、中間配当として25円、期末配当として25円を予定しております。



2. 2020年度 ハイライト

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて

お客さまと従業員の「安全・安心」を最優先に考え、
お客さまのご協力のもと、各種対策を実施しております。



2020年度 KFC事業 ハイライト

チェーン売上高

1,440億円

過去最高
前年比 + 11.8%

既存店前年比

売上高

+13.6%
2019年度 + 10.1%

四半期売上高

**11四半期連続
の増加**
2018年度第2四半期～
2020年度第4四半期

客数

+4.1%

既存店平均月商

1,110万円

前年 974万円

店舗数

期末店舗数

1,138店舗
前期末比 + 5

改装店舗数

233店舗
前年比 + 21

デリバリー実施店舗数

376店舗
前期末比 + 156

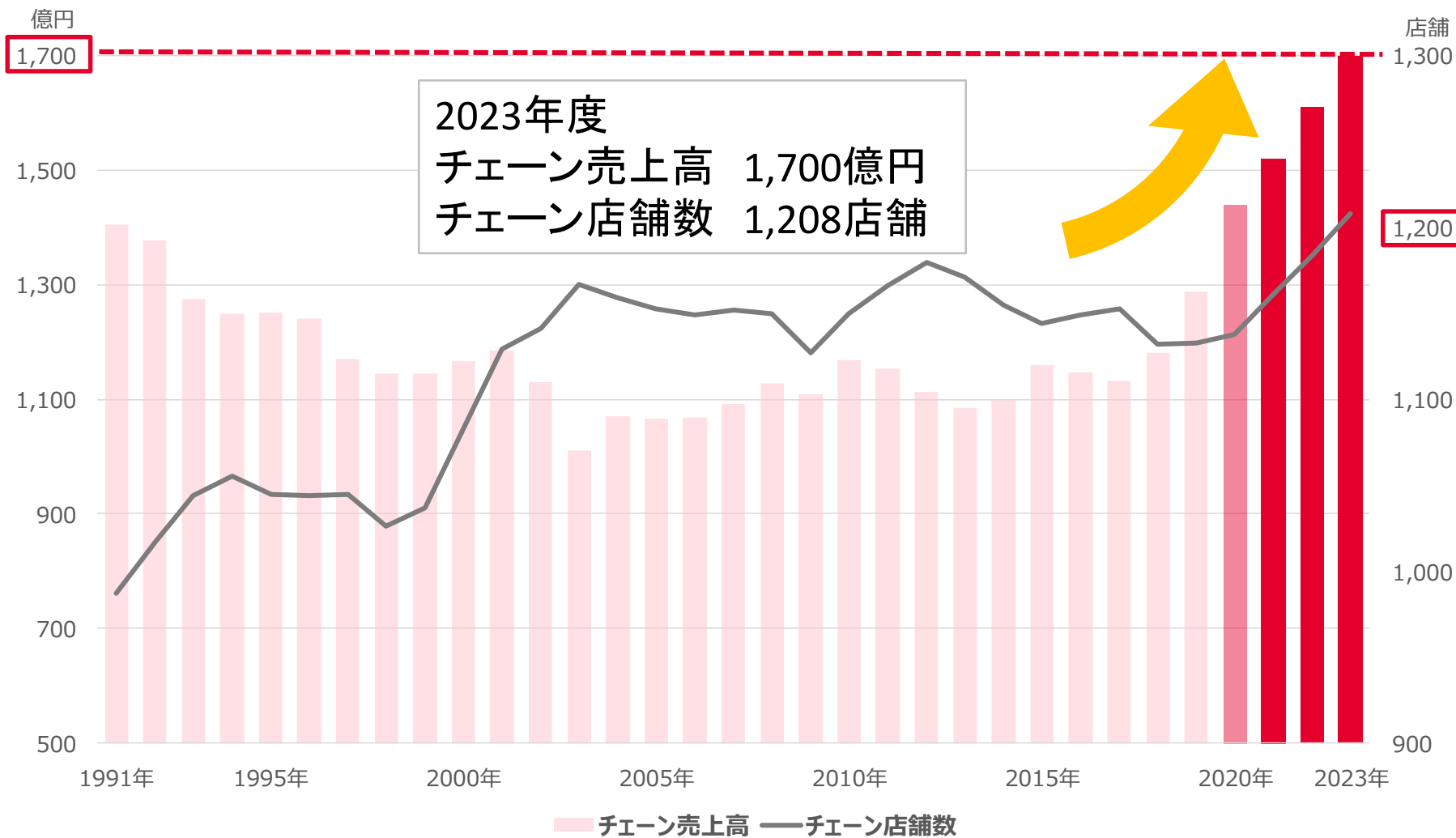


3. 2021年度 主な取り組み

KFC事業 2021年度 計画

	2021年度 計画	2020年度 実績	前年比
チェーン売上高	1,521億円	1,440億円	+5.6%
既存店 平均月商	1,131万円	1,110万円	+21万円
連結営業利益	57億円	63億円	▲5億円
店舗数	1,161店舗	1,138店舗	+23店舗
改装店舗数	220店舗	233店舗	▲13店舗
デリバリー実施 店舗数	455店舗	376店舗	+79店舗

KFCチェーン売上高/店舗数 (1991年-2023年)



新・中期経営計画基本方針

企業理念

ミッション ステートメント

おいしさ、しあわせ創造

- 食の「安全・安心」を通じ、人々の健康づくりに寄与し社会に貢献する。
- おいしさを創造し、お客さまに楽しく、豊かで、しあわせな生活を提供する。
- このビジネスで働く人々をしあわせにする。

新・中期経営計画 基本方針

「おいしさ、しあわせ創造」の企業理念のもと、環境変化に柔軟かつ迅速に対応しながら、KFC事業を中核とした総合フードサービスグループとして、より一層の成長を目指します。

新・中期経営計画骨子 (2021年度～2023年度)

1. KFC事業

- 更なる成長の推進 「お客さまに信頼され、愛されるブランドへ」
 - (1) KFCをエブリデイブランドへ
 - (2) もっと近くに、より快適に
 - (3) 「安全・安心なおいしさ」の追求

2. グループ事業

- 事業ポートフォリオの拡充
- 資本・業務提携先の企業価値向上（タイKFC事業・BYO社）

3. 事業成長の基盤拡充

- (1) DX推進・ITインフラの整備
- (2) 能力開発・ダイバーシティの推進
- (3) 環境保全への取り組み・CSR活動の推進

(1) KFCをエブリデイブランドへ

KFCファンを増やし、更なる日常化につなげる

魅力的な商品・プロモーションの展開

オリジナルチキンを中心とした定番商品の磨きこみ



ランチメニューの充実



あらゆる場面や時間帯のニーズに合った商品・サービスの展開



チキンのスペシャリストとして、お客さまのご期待にこたえる商品・メニューの開発

(1) KFCをエブリデイブランドへ

お客さまの利便性・快適性の向上

デリバリー対応の強化



	2019年度 実績	2020年度 実績	2023年度 計画
デリバリー 実施店舗数	220	376	553

デジタル戦略

スマートデバイスを中心としたデジタルメディアの機能強化により、お客さまの体験価値を高める



KFCアプリ・KFCサイトのリニューアル
KFCネットオーダーの進化
データマーケティングの強化

(2) もっと近くに、より快適に

「近くに店舗があればもっと利用するのに…」というお客さまのニーズに応える

積極出店

- レイアウトの工夫等、より柔軟な出店
- 生活様式の変化に対応した店舗の開発
 - 持ち帰り専門小型店舗
 - ドライブスルー店舗の進化



ビーンズ戸田公園店 2020年12月オープン



五日市街道北町店 2021年1月オープン

(2) もっと近くに、より快適に

戦略的改装の推進

快適な空間



イオンモール木更津店 2021年3月改装



ミスターマックスおゆみ野店 2020年10月改装



成城店 2021年3月改装

(2) もっと近くに、より快適に

利便性の向上

- ご注文と商品お渡し場所の区分け（スプリットカウンター）
- ナンバーディスプレイの設置
- セルフレジの導入



(3) 「安全・安心なおいしさ」の追求

フードサービスの基本となる「QSC×H活動」の徹底



Quality
(商品の品質)



Service
(サービス)

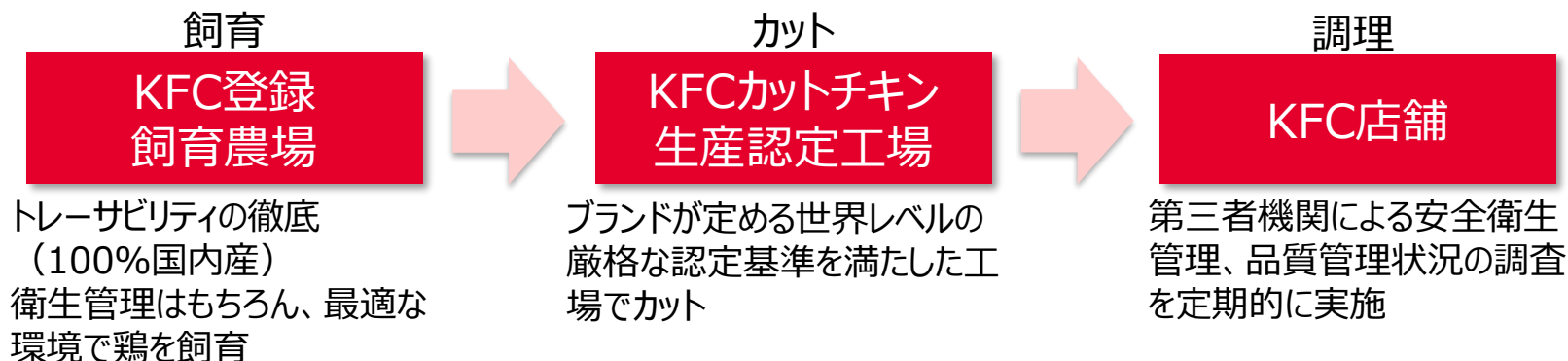


Cleanliness
(清潔さ)



Hospitality
(おもてなしの心)

鶏の飼育から配送、お店での調理に至るまでの、一貫通貫した安全・安心な仕組み



能力開発・ダイバーシティの推進

誰もがいきいきと働ける職場の実現

すべての人の成長・活躍を支える制度の整備

能力開発

ダイバーシティの推進



環境保全への取り組み・CSR活動の推進

限りある資源を大切に

店舗におけるCO₂排出量削減に向けた各種取り組みの実施

店舗の油脂ごみを電力として再生する取り組みの拡大

省プラスチック包材による環境負荷の低減

地域を支え、人を支える

こども食堂等への食材提供活動



フードドライブ



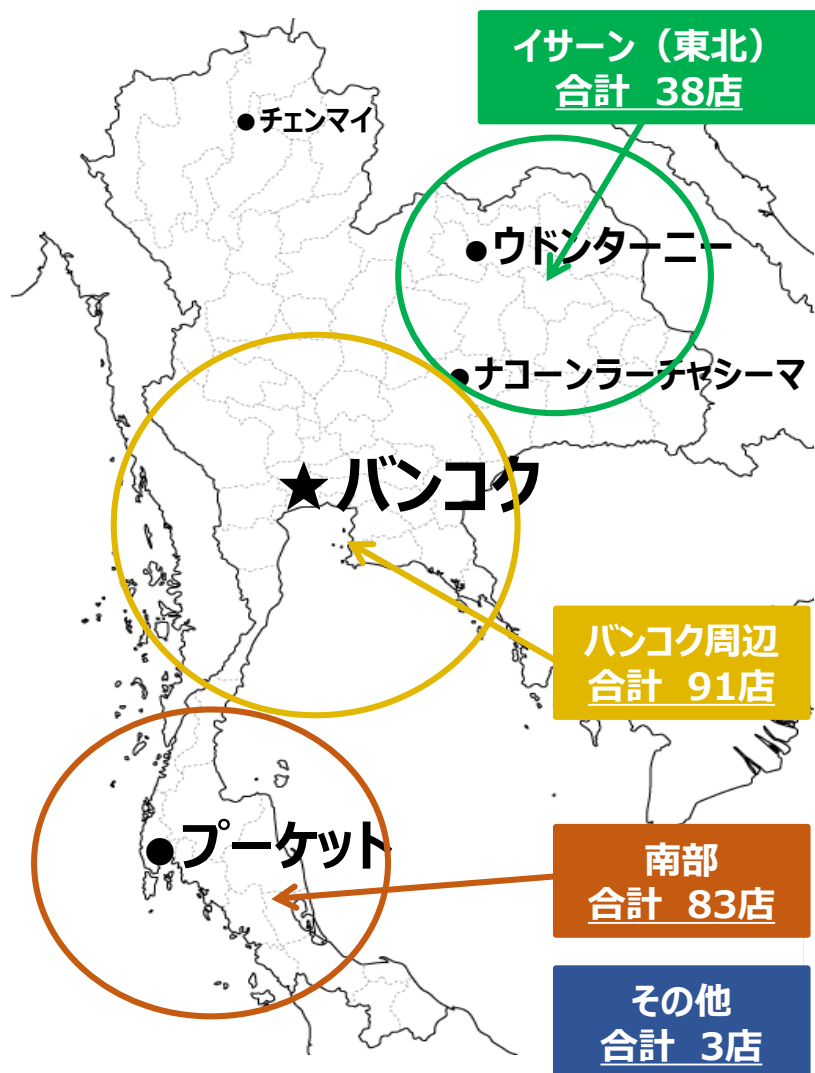


4. 資本・業務提携先

資本・業務提携先の企業価値向上

Restaurants Development Co., Ltd. (RDCL社)

タイKFC事業



2016年シンガポールに投資持株会社を設立、
同社を通じて共同投資家とタイKFC事業に参画

店舗数推移

2018年度	2019年度	2020年度	2021年度 (目標)
169 (+26)	200 (+31)	215 (+15)	238 (+23)

*括弧内数字は前年対比純増数

(2021年3月31日現在)

資本・業務提携先の企業価値向上

株式会社ビー・ワイ・オー 126店舗 (2021年3月末時点)

◆「和モダン」和食居酒屋



和食・酒 えん 9店舗



おばんざい・炙り焼き・酒 菜な 5店舗



資本・業務提携先の企業価値向上

株式会社ビー・ワイ・オー 126店舗 (2021年3月末時点)

◆ カジュアルレストラン



おぼんdeごはん 46店舗



マルモキッチン マルモキッチン 8店舗



資本・業務提携先の企業価値向上

株式会社ビー・ワイ・オー 126店舗 (2021年3月末時点)

◆ ファーストフード・デリ



だし茶漬け えん 24店舗



和食屋の惣菜 えん 9店舗



その他国内 21店舗
台湾 4店舗

かかや

おだしうどん・釜飯

アジアン パル
SAWADEE
SMILE
サワデスマイル

わかや
かきとり
ワイメン
しり
TORI-KANSUKE

和食
ま

つぐみ
三井物産
TSUGUMI

ま
日本の御馳走
Japanese Natural Store

KINZA
Japanese Restaurant



本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。

本資料（業績見通しを含む）は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。

本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は日本KFCホールディングス株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

